



地域資源や地域特性を活かした特色のあるまちづくりを推進するため「地域の力(考え)で地域を育てる」**地域まちづくり**をすすめています。市内各地域の地域まちづくり活動団体によって取り組まれている地域まちづくりなどを**地まぢのチカラ**で情報発信します。

2023.11.30

vol.96

## 地域の取組み

## 藤が丘まちづくり協議会



区画整理の歴史を説明する会長



毎正時に  
柴田勝家と  
音楽隊が  
飛び出る  
からくり時計



藤が丘まちづくり協議会は、名東区の藤が丘学区全域で持続的なエリアマネジメントや地区の将来構想の策定等を目指して活動している団体です。この日は「第1回ふじがおかまちづくりワークショップ」を実施。協議会会長のご案内のもと、地域住民と市内の大学生が対象エリアを1時間かけて視察。その後、3グループにわかれて「藤が丘がもっとよいまちになるためにしていくとよいこと」を考えるワークを行いました。地域住民からは日頃感じている気になる点についての意見が、大学生からは新鮮な目でまちを見て感じたアイデアが次々と飛び出しました。多くの可能性が見える藤が丘のまちが、今後どうなっていくか楽しみです！



## 大杉まちづくり会

## 地域の取組み

よく晴れた日曜日。北区大杉学区の大杉公園には、たくさんの人の姿が！今日は「大杉まちあるき」。大杉学区連絡協議会と大杉まちづくり会の主催で、健康促進コース・クイズラリーコース・歴史探索コースから自分に合ったコースを選び、みんなでわいわい、大杉のまちを散策します。クイズラリーには多くのファミリーが参加。初めまして同士、お互いに挨拶したり、一緒に歩く地域のおじさんに「ここには天狗がいたんだよ」と教えてもらい、大人も子どもも「へ〜！」と感心したり。歴史探索コースはガイド付き。史実や伝説の解説を聞きながら、自分たちの地域の魅力を再発見。どのコースでも、あちこちから楽しげな会話や笑い声が聞こえてきます。まちのみんながどんどんつながっていくみたい。参加すれば「自分のまぢはこんなまぢ！」と自信をもって言えるようになる、そのための色んな工夫と想いがあふれたイベントでした。

首塚って何？ 解説に興味深々



地域の大人が「こっちだよ〜」と道案内

大杉(あまがさか)は  
妖怪伝説いっぱい  
のまぢだ！

## 地まぢ チャレンジ~42人目~

三谷洋一さんご紹介

一般社団法人 愛知子ども応援プロジェクト  
代表理事 藤野 直子さん



Q まぢづくりに取組んできた中でうれしかったこと

A 志を同じくする沢山の仲間に出会えたことです。

Q これから取組みたいと考えていること

A お子さんたちを負の連鎖からおひとりでも多く、引っ張り上げて差し上げたい。教育格差は正に力を注いでいきたいです。

Q 最後にひとこと

A まずはお腹を満たすこと、そして、自分の力で人生を切り拓いていくためのお手伝いをしていきます。地域に密着している皆さんのお力を、是非貸してください！

愛知県内の子ども食堂やフードパントリー・学習支援、ひとり親支援などの地域活動を行う方への後方支援をする藤野さん。経済的な理由で教育の機会が失われてしまう状況をなんとかしたいと思ったのが活動のきっかけとのこと。手元にお金がなく困っている家庭にスピード感を重視した資金援助を行う“実家基金”は、子ども食堂を通して対面でお金を渡すという画期的なシステムです。いつも伝えているのは“子どもと顔の見える関係性を持ち、つながり続けること。地域の人が見守り続けること”。今後も様々な支援を計画中とのこと。 「人は、誰か一人でも自分を必要だと言ってくれる人がいれば生きていける。そういう場を作りたい。」というご自身の言葉を体現していっしょにやります。藤野さんには遠く及びませんが、自分にもできることを少しずつ実行していきたいと強く感じる取材でした。

